

日本共産党

豊島区議団ニュース

発行所：日本共産党豊島区議団 東京都豊島区東池袋1-18-1 豊島区役所内 TEL.(3981)1429 FAX.(3590)4650 第7号 2008年8月10日発行

新庁舎

超高層分譲マンション合築

反対批判続出

区民説明会終わる

新庁舎整備方針(案)の区民説明会(12カ所)が7月9日に終わりました。日本共産党区議団は、各議員が分担し、説明会に参加し、区民の生の声をききました。区は、説明会等で出された意見をまとめて9月に発表するとしています。説明会での区民の意見は、各会場とも積極的賛成意見は少く、疑問、反対意見が圧倒的でした。

10億円の黒字になるのか?

今回の「旧日出小地区」は区民が判断する上では必要な資料、情報を提供していないことが第一の問題です。たとえば、「旧日出小地区案」は、収支合計が10億円黒字になり「現庁舎地案」では、48億円の赤字になることになっています。

今回の「旧日出小地区」は、そのようになるところが、基本設計をおこない、分譲住宅部分なども含めた「床」の価格、東池袋駅からの地下通路などの周辺整備費等の費用、つまり総事業費を計算し、また、50年の定期借地権で「貸す」現庁舎の「地代」が決まらなければ収支は確定できません。

そのことを指摘すると、1年半後ぐらいにできる「事業計画」が決まらないうと明らかにできないとしており、それ以前に発表すると事業に種々影響があるので駄目だとのこと。再開発組合が隠れ蓑になって区民に情報が十分公開されないばかりか、旧日出小地区案は、「黒字になる」根拠が曖昧だということです。

維持、管理などについては、これから「規約」を検討することです。規約ですべて解決できるかは不明です。また、将来のランニングコストも説明されていません。

区は住宅の販売はデベロッパーが責任を持つとしていますが、地価は下がり、マンションはだぶつき、先行き不透明「冬の時代」といわれています。区が加わっているのに「透明」だといっていますが、失敗したら誰が責任をとるのでしょうか。

前代未聞の民間分譲マンションとの合築

区は「財政負担の少ない方がよい」と旧日出小地区案を優先化した最大の理由にしています。

第二の問題は、区庁舎という区民の自治の中枢が超高層の民間分譲マン

ションと合築で問題がないのかということです。区は、今は「家主」で

ですが、旧日出小地区案であれば二区分所有者になります。長期、短期にわ

再開発の起爆剤

第三の問題は、庁舎の再開発事業による建設で池袋東側の大開発を促進しようとしていることです。

副都心線開通を契機に「都市間競争」「にぎわい」を強調し、LRT(路面電車)、東西デッキ、造幣局敷地を含む東池袋の大型開発を「グランド

問題、疑問が山積しています。庁舎建設案に突然、区民センターを健康センターにし建替えのための21億円を計上したことなどです。

また、区は「環境モデル都市」に名乗りを上げるなど「環境重視」といいますが、超高層ビルを

ば、区民合意を第一に、場所、資金計画、規模など慎重におこなうべきです。



日本共産党 奮闘!

赤ちゃんからお年寄りまで 安心して住み続けられる豊島区に

08年第2回
定例区議会

第2回定例区議会が6月27日から15日間の日程で開催されました。日本共産党区議団を代表して、小林、儀武の両区議員が一般質問にたち、新庁舎建設問題をはじめとする大型開発を区民の合意なく進める区政を厳しく批判。区民にとって真に必要な介護、医療、教育の充実を求めました。

同区議団は、提出された請願・陳情に対し、区民の立場にたって奮闘しました。また、後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書を民主・区民と共同提案しましたが、自民、公明、無所属議員の反対で否決されました。

小林ひろみ議員が一般質問

独断専行的 運営はやめよ

袋副都心グランドビジョン」で大型開発の新事業を次々と発表し、広報にも掲載するなど、独断専行的な区政運営をしていることを厳しく追及しました。



小林ひろみ議員

新庁舎建設に ついで

①優先化について「旧日出小地区案」に一本化したことは撤回すべき②区庁舎となじまない民間分譲マンションとの合築はやめ、区単独の建物とせよ③総事業費や計算根拠、準備組合の検討状況等については情報公開を、④経済情勢等で変化する不安定な資金計画など、問題点が多く、庁舎建設にふさわしくない。区民合意を得るために時間をかけ、必要な資金・建設計画を立て、「身の丈にあった」区庁舎建設とすべき、と質問しました。

た。

また具体的な豊島区の施策拡充として、ヘルパー

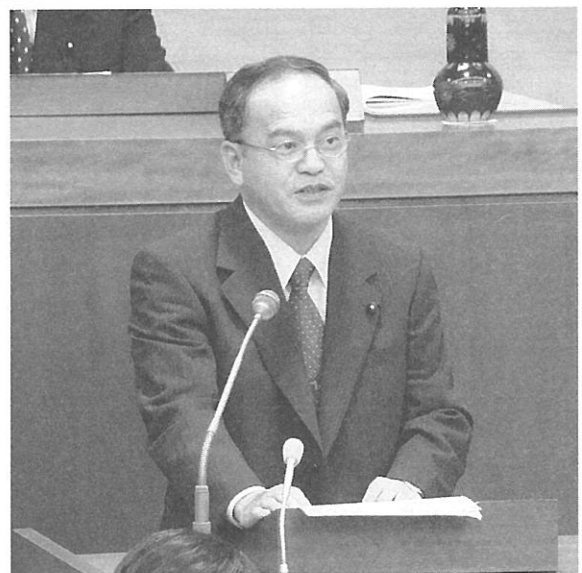
安心して介護を 受けられるために

介護現場の人手不足は深刻であり、国に改善を求めるよう質しました。副区長は「現場は厳しい状況にあると認識」「国や都に改善を求めている」と答弁しました。



後期高齢者医療 制度について

儀武さとし議員は(1)後期高齢者医療制度は75才以上の高齢者を強制的に囲いこみ、負担増と医療差別を押し付けるもので、廃止する以外に解決策はない。区長はきっぱりと反対を表明すべき。(2)高齢者は圧倒的多数が低所得者であり、直ちに



儀武 さとし議員

する願いにも反している。また、「学校が統廃合されるのでは」と地域を不安に陥れるような本制度は、見直すべき。(2)学校教育の私費負担の軽減策については、①中学校の修学旅行補助と移動教室補助金の復活を②給食費の値上げは、家計にとっても重い負担。食料などへ区が補助するなど、保護者の負担軽減を図るべきと質問。

都バス乗降営業所の 活用について

東京都交通局が2008年度に都バス乗降営業所改築の基本設計を行うにあたって、公衆トイレの設置と、400台の自転車駐車場実現のため、区長が積極的に東京都へ働きかけるよう、求めました。

教育について

(1)隣接校選択制の導入により、「選ばれざる学校」「選ばれない学校」ができており、子どもの心を傷つけ、父母の教育に対



区長 区民の願いに 背を向ける!

主な条例・請願・陳情・意見書について(主な議案等に対する主な会派の立場については4面参照)

補正予算

過剰な借金返済より、福祉、教育の復活拡充を！

補正予算には、これまでの日本共産党の主張が実現し、妊婦健診の公費助成を14回に拡充する9500万円等が計上されています。その一方で、区長が第一回定例会で突如「土地開発公社分割償還金の未償還分の内、当初14年間で返すとしていた125億円を一気に3年間で返す」と表明した計画が含まれています。この方針に従い本補正予算には29億5千万円が計上され、これにより今年度の返済総額は、実に100億円を超えることとなります。来年度は20億円、再来年度は53億円が上乗せ返済される予定です。

審議された総務委員会で森議員は「上乗せして借金返済する財源があるならば、区民が待ち望んでいる福祉、教育を今こそ復活拡充すべき」と質しました。ところが区は「研究調査中」と、全く

やる気のない答弁。大型開発に全力をあげている姿勢とは対照的です。森議員は「返済額を、わずかも福祉、教育分野に振り向ければ多くの事業を復活拡充できる。この計画は借金を軽くし、大型開発を進める際の資金調達を容易にするものに他ならない」と、反対しました。

介護・福祉の

人材確保を

介護や保育など福祉分野の人材確保が困難になっています。人材の確保・充実を求める請願・陳情3件が、区民厚生委員会で審議されました。小林議員は、介護現場などの労働力不足の実態をあきらかにし、このままでは介護の質が下がる、請願・陳情を採択し意見書を国に上げるべきと主張しました。

自民党、民主・区民、公明党は、「政党としてやる」などとして請願・陳情を継続審査にし、国に意見書を出してほしいという切実な要望に背を向けました。

00台以上）、公衆便所設置計画を確認するとともに、「ホームは狭い。安全と利便性確保のため西口改札口の設置を」と主張。全会派一致で請願を採択。関係機関に意見書等が送付されました。

東池袋第三区民集会室

廃止反対

旧第二出張所に併設されていた東池袋第三区民集会室（東池袋二丁目）を廃止する条例が区民厚生委員会で審議されました。この条例は近所に民間（帝京平成大学）の集会室が代替施設となるからとして、区民集会室を廃止するものです。小林議員は、「代替施設というが、条例上明記されないもの。民間頼みのやり方では、いつ貸主の都合で状況が変わるかわからない。区民集会室を残すべき」として、廃止に反対しました。

後期高齢者医療制度

廃止を求める意見書否決

後期高齢者医療制度がスタートして3か月。区の窓口には「わずかな年金からも保険料を天引きするとはけしからん」などと、4月だけでも4千人以上の苦情・相談が殺到しました。

今議会に、日本共産党は民主・区民豊島区議団と「後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書」を共同提案。儀武さとし議員は、2会派を代表し

て賛成討論を行い、この制度は75歳になったとたんに「後期高齢者」のレッテルを張り、医療差別を押し付け、「保険料は天井知らず」に値上げされ、すべての世代に重い負担と医療切捨てを押し付けるものであり、廃止しかない、と主張しました。

大塚駅前広場の整備を求める

請願採択

「大塚駅周辺を考える会」提出の請願が都市整備委員会でも審議されました。この請願は、JR大塚駅自由通路の整備（2010年完成予定）に続き、

南北駅前広場の再整備として、駐輪場、公衆便所、都電通路、道路の整備や駅西口改札口の設置を求めたもの。



東長崎駅舎・駅前広場バリアフリー化が完成しました

東長崎駅の駅舎改築を祝い、7月5日、6日、記念式典と各種イベントが開催されました。最近も「北口エレベーター側にも南口同様

東長崎駅の駅舎と駅前広場の改善は、長年の地域住民の強い願いで、かきうち議員は、区議になった当初から行われる予定です。

○は可決(採択、不採択、継続)に賛成 ×は可決(採択、不採択、継続)に反対 -は棄権



妊婦健診助成

8月から14回に

拡充されます

豊島区でも妊婦健診の14回助成が始まります。08年第一回定例会で区が実施を表明しましたが、

関係機関との調整などに時間がかかっていました。また、助産所や里帰り出産でも利用できます。

8月1日実施ですが、4月にさかのぼって適用されることになっており、既に自己負担した分は一回につき5千円まで無料化を求めています。

主な会派	結果	日本共産党	自民党	民主・区民	公明党
意見がわかれた主な議案など					
豊島区立区民集会室条例（東池袋第三区民集会室廃止）	可決	×	○	○	○
平成20年度豊島区一般会計補正予算（第1号）	可決	×	○	○	○
介護労働者の早期人材確保を実行するための請願（住宅手当補助の創設を求めるもの）	不採択	不採択に反対	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成
「郵政民営化見直し」に関する陳情	継続審査	×	○	○	○
介護労働者の人材確保についての請願 福祉人材の確保にむけた施策の充実を求める陳情（国への意見書提出を求めるもの）	継続審査	×	○	○	○
医師・看護師などを大幅に増員するための法改正を求める陳情	継続審査	×	○	○	○
後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書	否決	○	×	○	×
北朝鮮に対する経済制裁措置による拉致事件の早期解決を求める意見書	可決	×	○	×	○
青少年健全育成のためのインターネットの有害情報規制にかかる実効性ある法改正を求める意見書	可決	×	○	×	○

副都心線開通で、

有楽町線の要町駅、千川駅は準急通過

6月14日、地下鉄副都心線（東京メトロ）が開通しましたが、同時に池袋駅で乗った「有楽町線」が、要町駅と千川駅を通過する準急電車が走りました。同時に池袋駅で乗った「有楽町線」が、要町駅と千川駅を通過する準急電車が走りました。同時に池袋駅で乗った「有楽町線」が、要町駅と千川駅を通過する準急電車が走りました。

が「準急通過」で地盤沈下する」など苦情が出ています。

河野たえ子議員は7月15日の副都心開発調査特別委員会「東京メトロに復活を要請せよ」と求め、区も要請すると答弁しました。



渡辺 ぐみ子

住所：高田2-8-9-308
電話：3971-1950
都市整備委員会委員



かきうち 信行

住所：南長崎3-8-19
電話：3950-3675
党区議団幹事長
子ども文教委員会委員



河野 たえ子

住所：西池袋5-26-28
電話：3957-2600
党区議団長
区民厚生委員会委員長



森 とおる

住所：西巣鴨1-3-20-102
電話：3940-6960
総務委員会委員



儀武 さとる

住所：巣鴨5-38-1
電話：3918-9458
党区議団副幹事長
総務委員会委員



小林 ひろみ

住所：高松2-52-10
電話：3955-8244
党区議団副団長
区民厚生委員会委員

ご意見、ご要望をお寄せください
日本共産党豊島区議団

☎(三九八二)二四二九

ホームページもごらん下さい <http://www.jcp-toshima.jp>